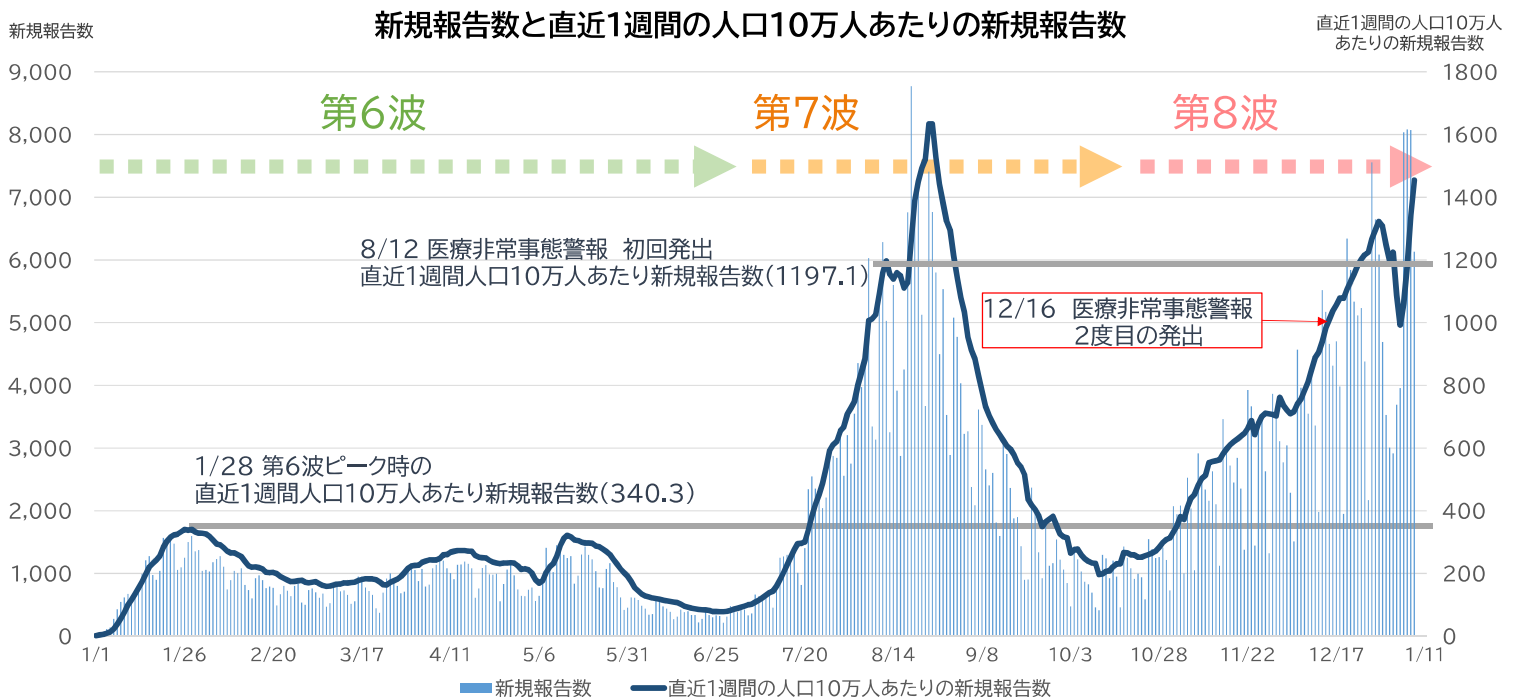


# 県内の感染状況と 医療ひっ迫時におけるお願い

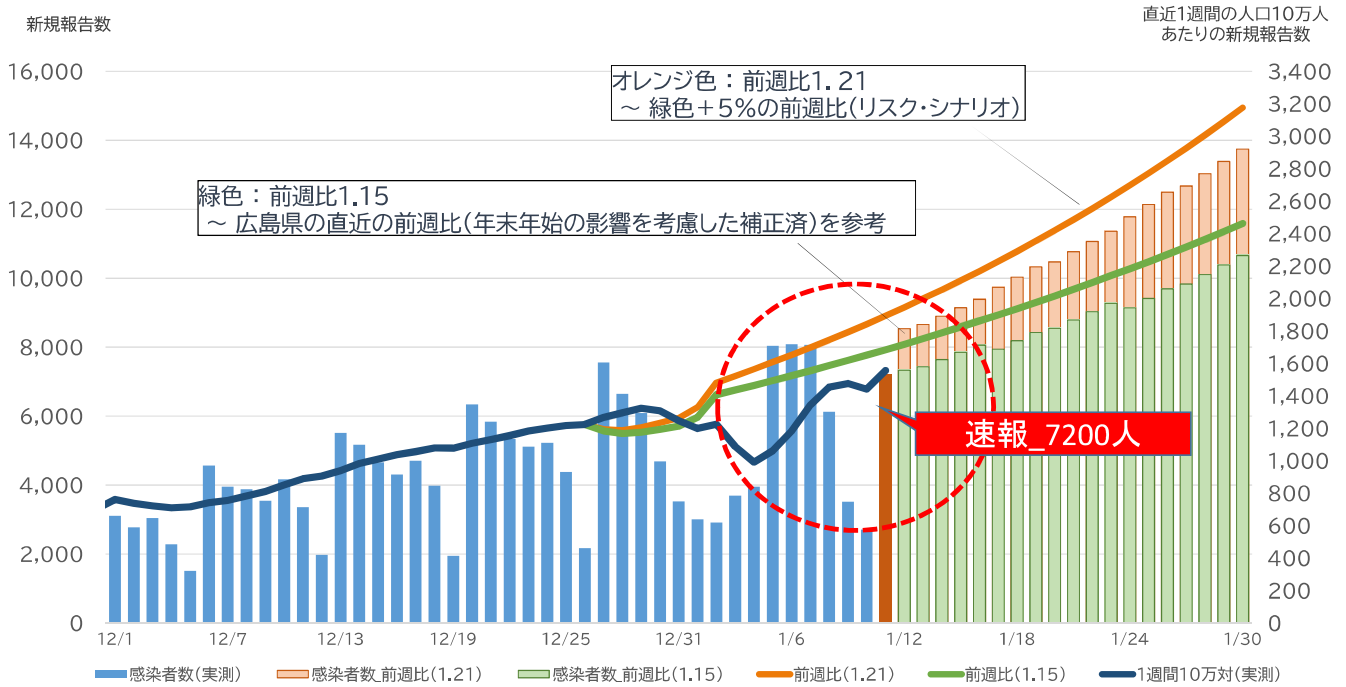
広島県新型コロナウイルス感染症対策担当  
令和5年1月11日

## 本県の感染状況



12/16 警報発出後も新規感染者数の増加は継続

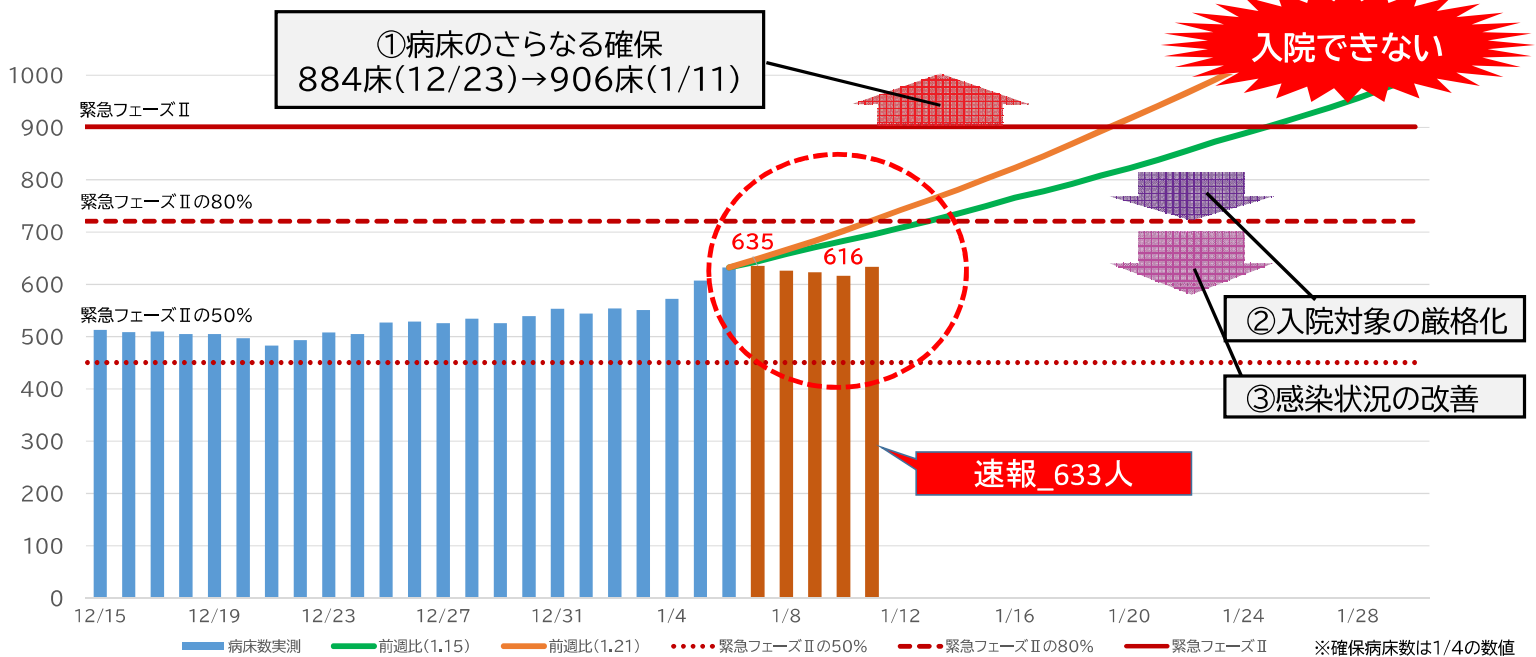
# 新規報告数と直近1週間の人口10万人あたりの新規報告数 シミュレーション



年末年始を経て、再度増加傾向が継続

# 入院者数 シミュレーション

※シミュレーションは1/6実施

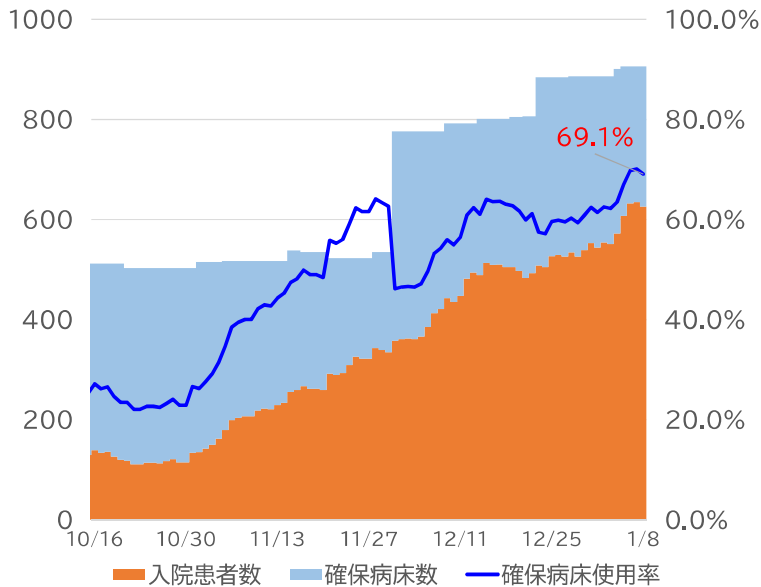


近日中に緊急フェーズⅡ(最大確保病床)の80%に達する見込み  
このままでは、入院病床が満床となり、入院できなくなる恐れも

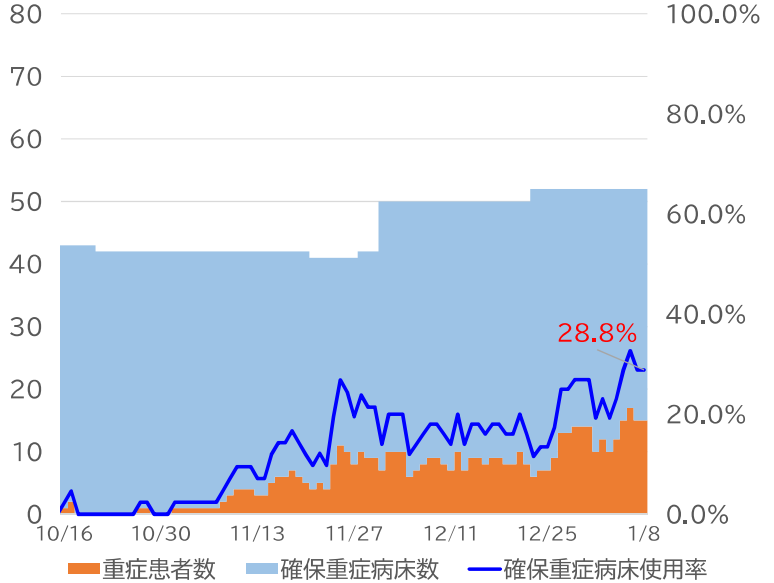
# 入院医療の状況：病床利用率

1月8日時点

### 確保病床利用率



### 確保重症病床利用率

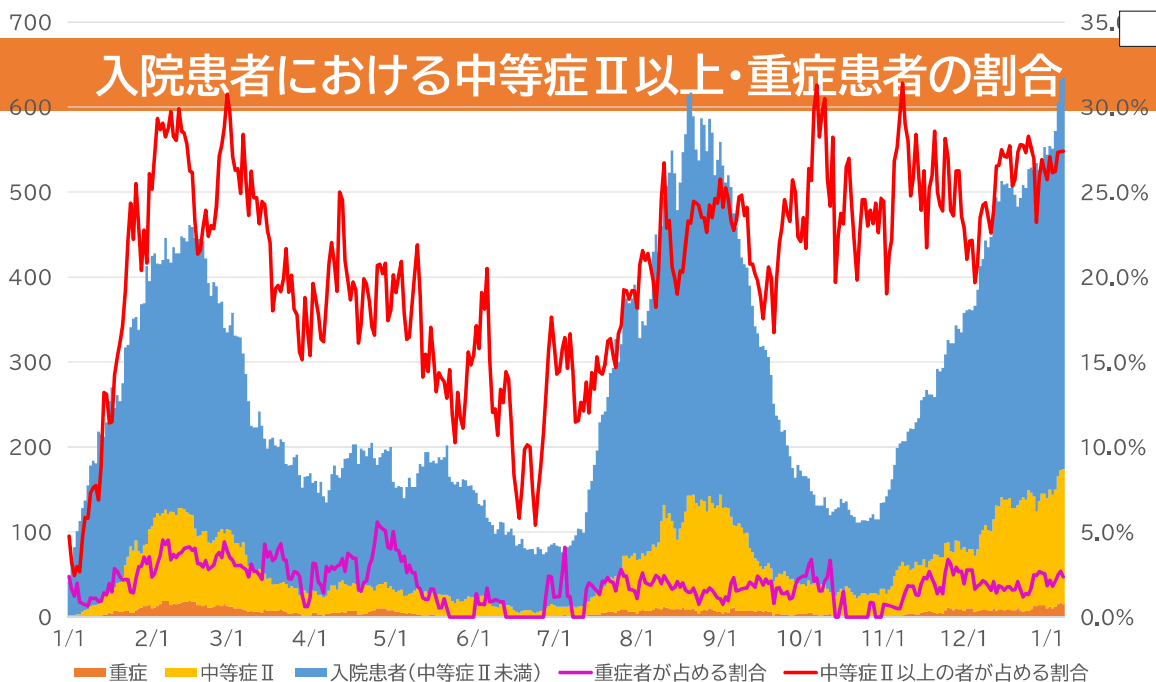


重症病床利用率も年明け以降に上昇傾向が続く

# 入院患者における中等症Ⅱ以上・重症患者の割合

1月7日時点

### 入院患者における中等症Ⅱ以上・重症患者の割合

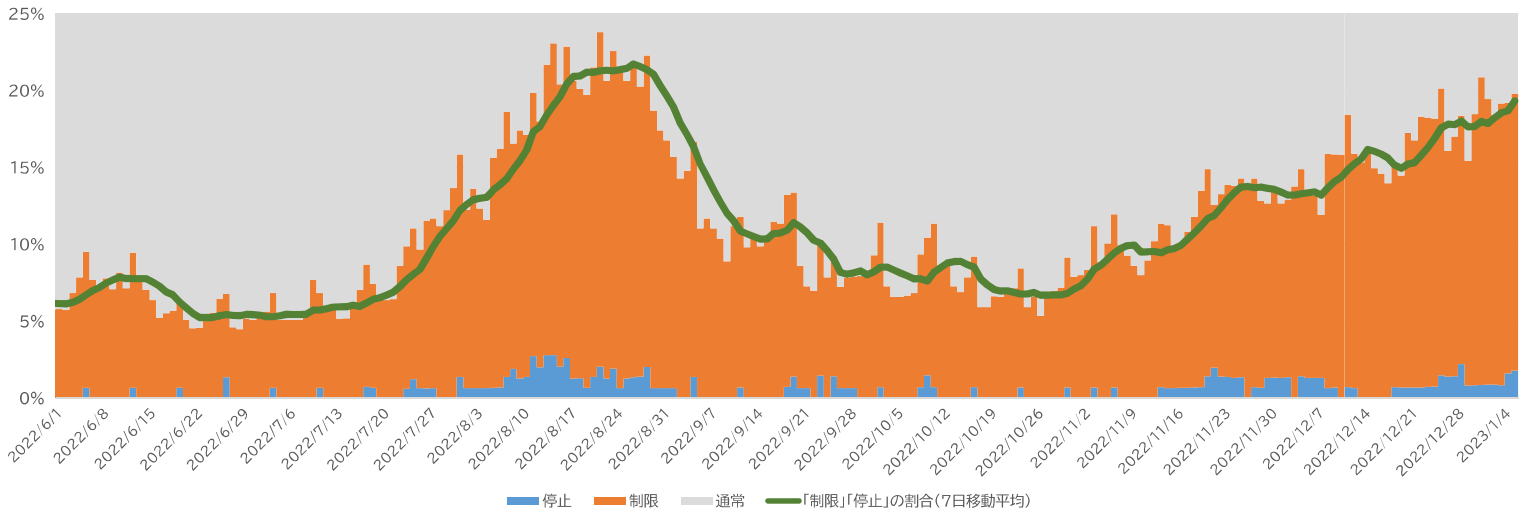


## 入院医療の状況：

県内医療機関(コロナ入院受入病院以外を含む。)における入院受入「停止」または「制限」となっている割合の推移

入院受入「停止」「制限」の推移

R5.1.5時点まで



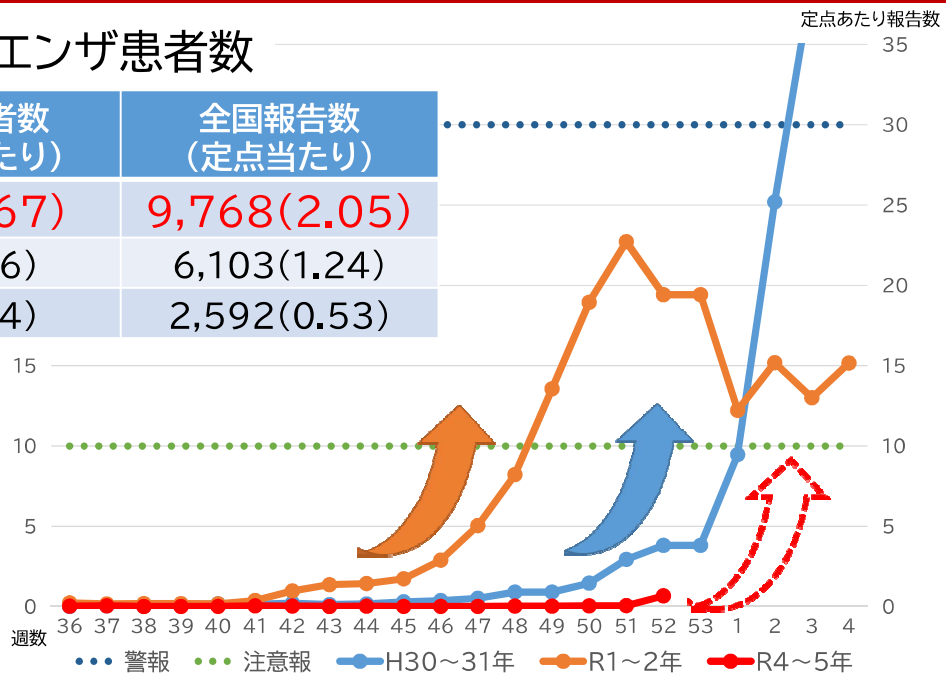
入院受入「停止」「制限」の割合も増加傾向が続く

7

## 季節性インフルエンザとの同時流行

今シーズンにおけるインフルエンザ患者数

週	期間	県報告者数 (定点当たり)	全国報告数 (定点当たり)
52	12/26~1/1	75(0.67)	9,768(2.05)
51	12/19~12/25	7(0.06)	6,103(1.24)
50	12/12~12/18	4(0.04)	2,592(0.53)



※R02年~R03年シーズン及びR03年~R04年シーズンは流行が確認されていないため掲載省略

年末以降、県内でも季節性インフルエンザ患者が増加傾向

8

## 感染拡大による医療現場への影響

- 一日の新規報告者数は1月5日から3日連続で8千人超
- 病床使用率も80%に近づくなど、医療への負荷が増大
- 入院を停止・一部制限している医療機関が増加
- 季節性インフルエンザとの同時流行も現実味

✓ 満床になると、  
感染して入院が必要になっても入院できない

非常に深刻な状況

9

## 【お願い】

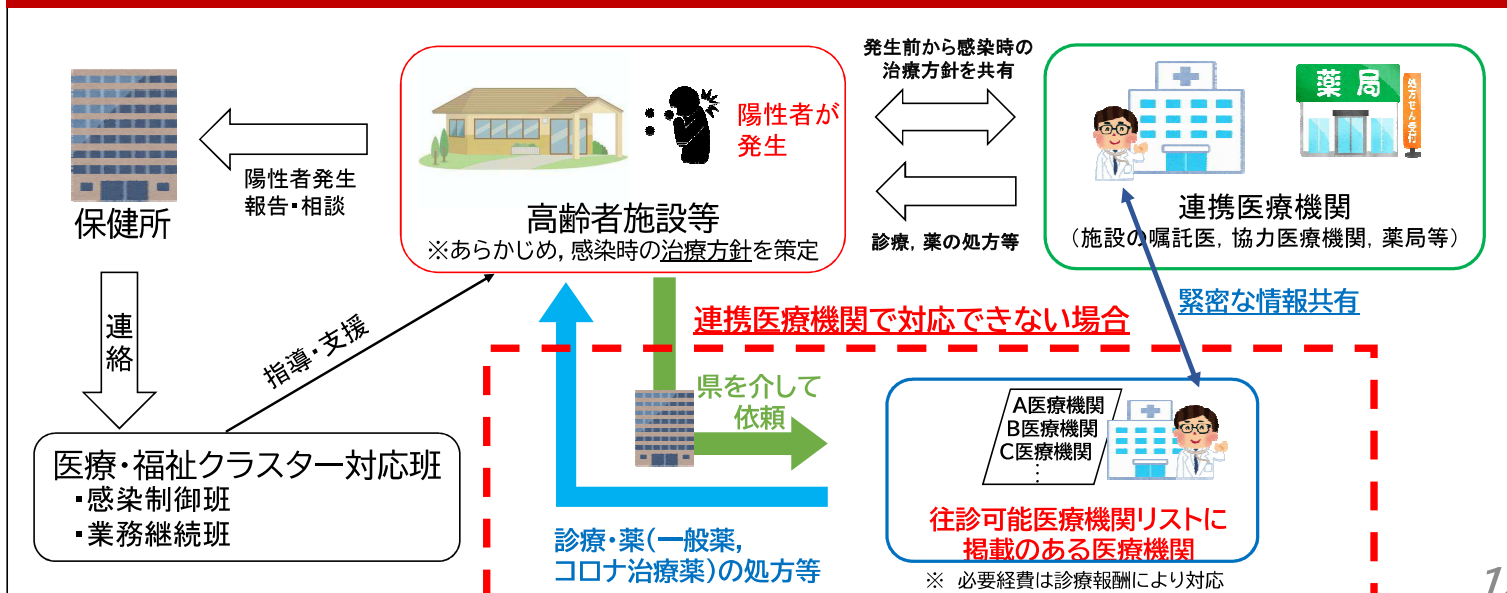
病床のひっ迫を避け、  
入院の必要度の高い患者の  
受け入れを円滑に進めるため、  
次の事項に御協力ください。

# 高齢者施設等に入所中の新型コロナ患者への対応 (令和4年12月14日依頼)

- 入院調整は、中等症Ⅱ以上の症状が不安定な患者を中心に運用せざるを得ない状況。
- ⇒ 高齢者施設等に入所中の新型コロナ患者について、中等症Ⅱ以下で症状が安定している場合、施設内での医療・療養の継続をお願いします。
- 療養解除後や療養解除前であっても新型コロナ症状が回復している入院患者については退院を進めている。
- ⇒ 高齢者施設等にあつては、退院患者を受入れ、施設内療養を再開していただくようお願いします。

嘱託医又は連携医療機関での対応が困難な場合は、往診可能医療機関の活用等により、施設内での医療・療養を継続していただくようお願いします。

## 【往診可能医療機関】 高齢者施設等への治療支援スキーム



## 自宅等療養中の要介護高齢者への対応 (今回のお願い)

- 病床ひっ迫時には、在宅の要介護高齢者が新型コロナに感染した場合においても、やむを得ず自宅療養となる場合が想定される。
- ⇒ 新型コロナで自宅等に療養中の要介護高齢者への、居宅介護支援事業所等及び訪問系の介護サービス事業所によるサービスの確保をお願いします。